

## 越後津南 太田新田ボルダー笹葉峰エリア Ver.2.0

このエリアは、太田新田ボルダーメインエリアと同時期に見つけていたものだが、数も少なく、一見あまり魅力的なものになかったため、開拓はこの周辺では後回しとなってしまうが、①の岩をトライしに行った際、林の奥に④と⑤の大きめの岩を発見し、意外と楽しめるエリアであることが分かった。

場所はメインエリアから南方へ林道を進むと、十字路があるので、小松原湿原方面の林道に左折する。暫く行くと、林道のすぐ右横に①のボルダーがあるので目印となる。

ボルダーは数ヶ所に散在しており、岩質は安山岩で、大きさは1.5から4m程でSD課題が中心である。

アクセスは、上記の通りだが、駐車スペースが限られており、①の岩の手前50m程のところに駐車スペースがある。他の車も通るので、退避スペースも考慮しながら停めた方が良い。

アプローチは、①と②は林道の横にありすぐわかる。③は②の岩の横か、その10m先から植林帯を右に入る。④と⑤は①の手前から明るい林の中の踏み跡を辿ると早い。③の岩からも踏み跡があり、③④間は意外と近い。

⑥と⑦は駐車スペースから植林帯を下に50m程下ったところに大きな山のような岩があり、その南側の植林と灌木帯の境目の上下にある。

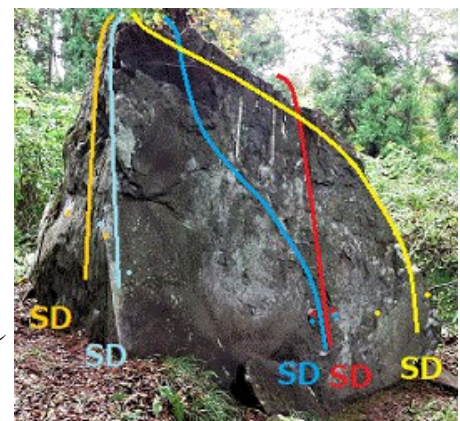
### 《課題紹介》

#### ①岩 (仮称: 関所岩)

林道の直ぐ脇にあり、エリアの目印となるピラミダルな岩。

被りはなくフェイスをバランスクライミングで登る。下に剥がれた岩が落ちているので注意が必要で、クラッシュパッドは必ず使用した方が良い。

課題については、青ライン(課題名: 通行手形)がちょっと楽しめる。

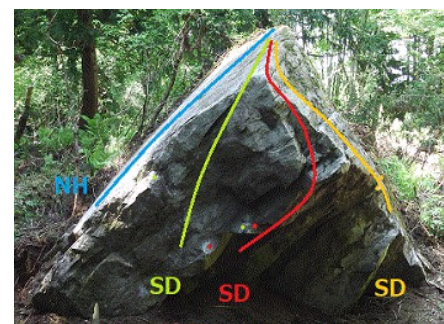


#### ②岩

ハングとスラブを持つ小さな岩。

特に面白味はないが、ウォームアップ程度なら使える。

この岩から踏み跡を奥に入ると③の岩に行ける。



令和5年12月1日 RCT/K

太田新田へ ニューグリーン  
ピア津南へ

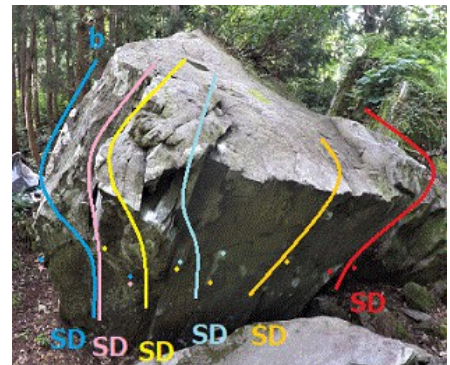
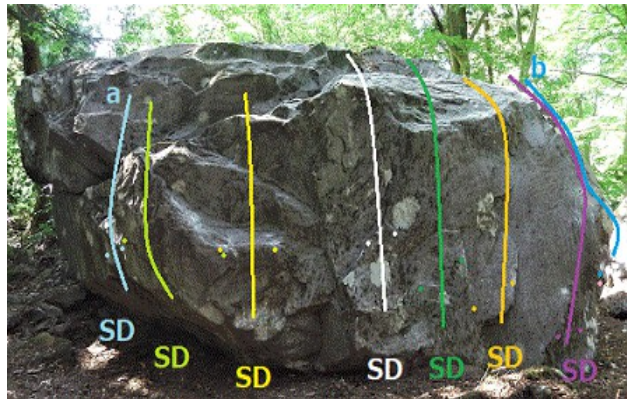
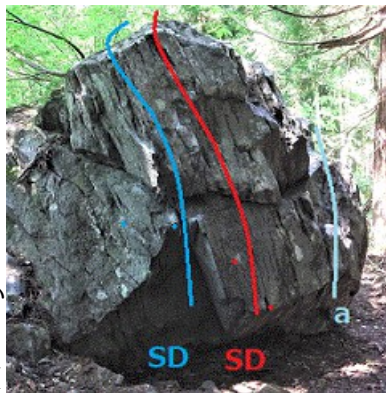


### ③岩(仮称:タンク岩)

トポ左:南面  
トポ中央:東面  
トポ右下:北面

高さは2.5m程だが、課題が沢山あり楽しめる。

易しい課題が多いが、南面の赤ライン(課題名:主砲)、東面の紫ライン(課題名:90式)、北面の青ライン(b)(課題名:10式)辺りがそこそこ面白い。



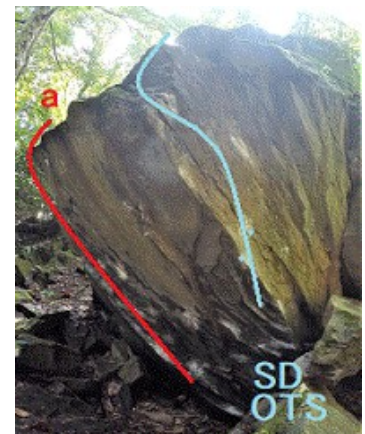
### ④岩(仮称:ささっぱハング)

トポ左:北面 右:西面

このエリアで最もボルダーっぽい前傾壁(北面135度)を持つ岩。左右の下地の岩が出ており危険なので、パッドは必ず複数枚使用した方がよい。

全体的にホールドは良いが、被っているので、上半身にある程度のパワーがないと厳しく感じると思われる。

赤ライン(a 課題名:縄文火焰型)がおすすめです。



### ⑤岩(仮称:ブロック岩)

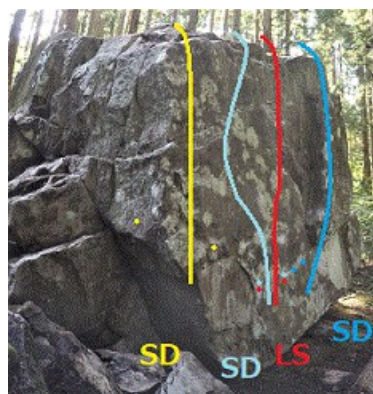
トポ左:北面 トポ右:西&南面

高さは4m程で大きいですが、被りはない。

北面は細かなフェイスでトライ中に何か所かホールドが剥がれたので落ちるものは落とし、安定させてからトライしたが、ちょっと易くなってしまった。青、赤、水色ラインがそこそこ面白い。

西面は易しいフェイスだが、赤ラインの出だしはちょっとパワフル。

南面は浮石っぽい大きなフレイクを登る。



### ⑥岩

上側の逆層の岩で高さ3m程であるがスラブ状なので威圧感はない。

赤ラインのみ SD 課題でスタートの右手は側壁のガバを使用。

青とオレンジラインは、マントリング。



### ⑦岩

下側の2m強の岩。逆層だが下に良いフットホールがあるので難しくはない。

